



HAGIWARA TIMES

- ・帯広広尾自動車道 大樹町 大樹南道路改良工事
- ・帯広広尾自動車道 大樹町 歴舟北道路改良工事
- ・水利施設帯広かわにし2外1地区71工区
- ・大野の沢 災害関連緊急治山工事
- ・イの沢治山工事
- ・パンケ新得川 砂防工事(補正・明許)外

Vol. 114
2026.

11



●現場全景 令和8年9月18日撮影



●現場全景 令和8年9月30日撮影

帯広広尾自動車道 大樹町 大樹南道路改良工事

帯広広尾自動車道 大樹町 歴舟北道路改良工事



●ICT法面整形



●ICT敷き均し状況



●盛土転圧状況



●路床排水掘削状況

●施工場所：広尾郡大樹町

●発注者：北海道開発局 帯広開発建設部

●施工業者：萩原建設工業株式会社

●施工期間：令和8年3月31日～令和8年12月7日

●進捗率：72.0%(9月末現在)

土木

本工事は、帯広広尾自動車道（忠類大樹IC～豊似IC間）の延長1,440m区間において、盛土工・切土工、踏掛版工および路盤工を施工するものです。施工にあたっては、盛土材の含水比変化による締固め不足を防ぐため、水分計を用いた含水比管理を徹底しています。あわせて、締固め状況を目視で確認できるエコノマイザーを活用して「見える化」を図り、確実な品質管理に努めています。

熱中症対策では、サマータイムの導入やアイススラリー用冷蔵庫の設置、休憩所のソーラーハウスへの冷房設備の完備など、暑い時期でも安心して働ける環境づくりに取り組みました。今年は幸い猛暑日が少なく対策の出番は限られましたが、サマータイムは運用を通じて効果と課題を確認でき、次年度以降の暑熱対策につながる有意義な実証となりました。工事はいよいよ終盤を迎えています。これまで積み重ねてきた安全・品質・工程管理を最後まで継続し、無事故・無災害での完成を目指してまいります。

現場代理人・監理技術者：梅崎 寿一／担当技術者：南 迅、山崎 蓮



●土砂掘削・積込



●排水構造物工施工



●電送路施工



●AIダンプキーパーによるシート装着判定映像

●施工場所：広尾郡大樹町

●発注者：北海道開発局 帯広開発建設部

●施工業者：萩原建設工業株式会社

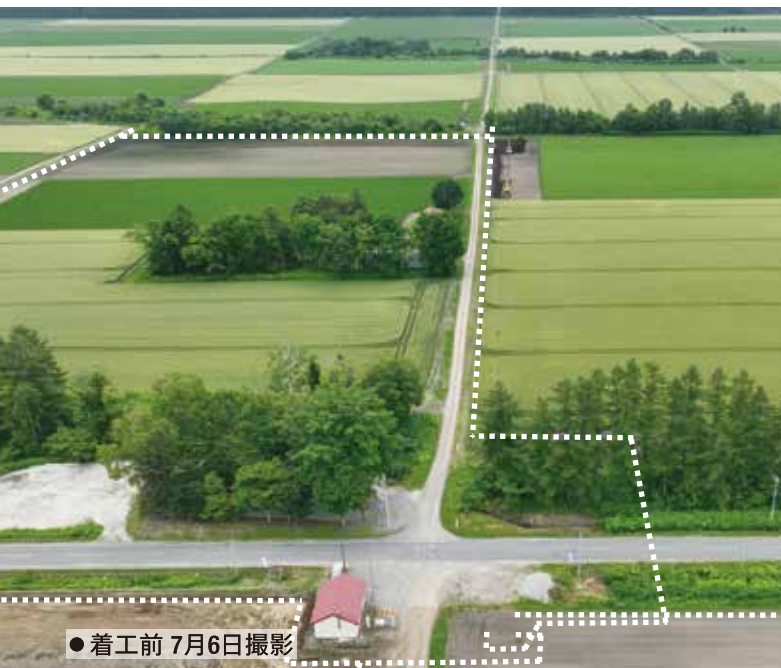
●施工期間：令和8年3月31日～令和8年12月7日

●進捗率：65.0%(9月末現在)



本工事は、広尾郡大樹町内において、帯広広尾自動車道の道路改良を行うものです。主な工種は、道路土工、法面工、排水構造物工、舗装工、防護柵工です。ダンプトラックで土砂を運搬する際は、土砂やほこりの飛散を防ぐため、全車にシートを掛けています。シートの装着は、現場出口での確認に加え、AIによる判定も行っています。また、見通しの悪い交差点付近には、通行車両を検知するセンサーと連動したLED電光板とバトライトを設置し、一般車両との接触防止を図っています。今後は法面工、舗装工、防護柵工などを並行して行うため、複数の作業が同じ箇所でも重なることもあります。工程や作業箇所を綿密に調整し、工事関係者と連携して安全を確保しながら施工を進めます。引き続き、周辺への影響に十分配慮し、無事故・無災害での完成を目指してまいります。現場代理人：伊東 雅幸／監理技術者：馬淵 重光／担当技術者：長谷川 航、坂本 愁弥、仁平 旬

土木



●着工前 7月6日撮影



●完成 9月30日撮影

水利施設帯広かわにし2外1地区71工区



●ダクタイル・塩ビ管布設完了



●河川横断



●多目的給水栓設置完了

● 施工場所：帯広市美栄町 ● 発注者：北海道 十勝総合振興局

● 施工業者：萩原建設工業株式会社 ● 進捗率：68.0% (9月末現在)

● 施工期間：令和8年5月1日～令和8年12月10日



萩原建設工業のみなさん

学習にりっぱなつばうをありがとうございます！

いっぱいあそびたのしいです！

社会福祉法人 帯広事業協会 清川児童保育センター



現場代理人：山尾 孝志／監理技術者：川路 将平



●現況 (9月30日撮影) No.4谷止工



●施工状況 (9月30日撮影) No.1流木捕捉工

大野の沢 災害関連緊急治山工事



●谷止工施工状況(コンクリート打設)



●急勾配区間のスリップ対策(格子状鉄板)



●谷止工施工状況(土砂掘削)



●熱中症対策状況(WBGT測定器・注意喚起看板)

● 施工場所：十勝郡浦幌町字厚内

● 施工業者：萩原・西岡経常建設共同企業体

● 施工期間：令和8年3月26日～令和8年12月10日

● 発注者：北海道 十勝総合振興局

● 進捗率：77.0% (9月末現在)



本工事は、豪雨による斜面崩壊で土砂が流れ出した箇所において、今後の崩壊や土砂流出による下流域への被害を軽減することを目的とした治山工事です。

主な工事内容は、コンクリート谷止工2基および流木捕捉工1基の施工です。谷止工の上流側に土砂を堆積させて渓流の勾配を緩やかにすることで、土砂の移動や侵食を抑え、渓流および周辺斜面の安定を図ります。

施工にあたっては、大型車両が頻繁に走行する工事用道路に敷鉄板を設置し、安全な走行環境の確保に努めています。また、勾配15%以上の急な区間では、雨天時や雨上がりのスリップを防ぐため、格子状の鉄板を敷いています。さらに、熱中症対策として現場に暑さ指数(WBGT)の測定器を設置するとともに、休憩用のテントやテーブル・椅子を設け、作業員が十分に休憩できる環境を整えています。

今後も現場の状況に応じた安全管理を徹底し、無事故・無災害での完成を目指してまいります。

現場代理人：國本 春彦(西岡建設)／監理技術者：畠中 洋祐

土木

土木



●現場全景 令和8年9月25日撮影

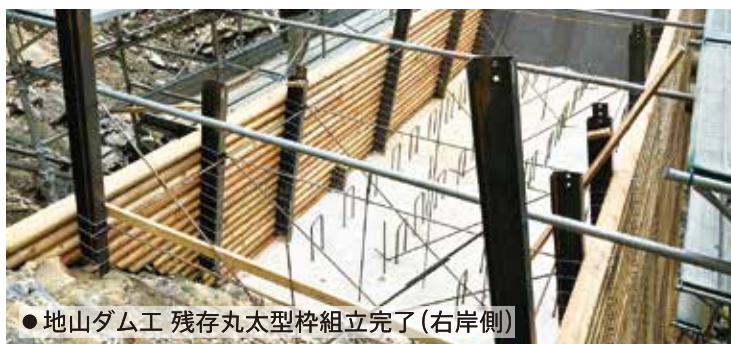
イの沢治山工事



●地山土工 軟岩掘削状況



●地山ダム工 コンクリート打設状況



●地山ダム工 残存丸太型枠組立完了(右岸側)



●地山ダム工 残存丸太型枠コンクリート完了(右岸側)

● 施工場所：河西郡中札内村南札内

● 発注者：十勝西部森林管理署

● 施工業者：萩原建設工業株式会社

● 施工期間：令和8年5月12日～令和8年12月16日

●進捗率：65.0%(9月末現在)

土木

本工事は、台風などによる豪雨災害を防ぐため、中札内村南札内の急峻な渓流に谷止工を設置するものです。

主な工事内容は、コンクリート谷止工1基（コンクリート量557.8m³）です。

現場は、ビュウタンの滝から札内谷側へ1.3kmの位置にあります。大雨などの悪天候時にはビュウタンの滝付近のゲートが閉鎖されるため、現場へ向かうことができず、工程に支障をきたす場合もあります。そこで、インターネットの道路情報システムでゲートの開閉状況を確認しながら、作業の段取りを組んで工事を進めています。

今後も気象情報に十分留意しながら現場環境の整備を徹底し、無事故・無災害での完成を目指して、安全かつ確実な施工に努めてまいります。

現場代理人・監理技術者:久古 欣秀／担当技術者:高橋 信護

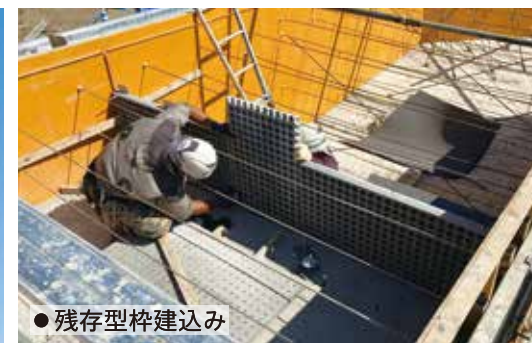


●現場全景 令和8年10月9日撮影

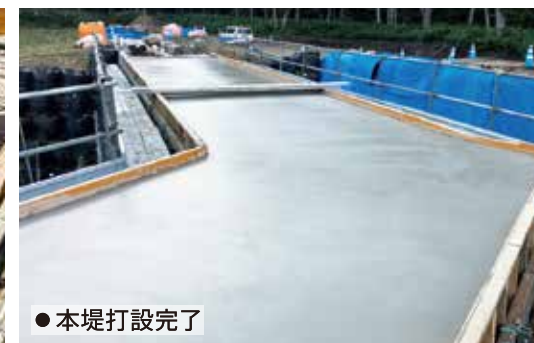
パンケ新得川 砂防工事(補正・明許)外



●本堤打設



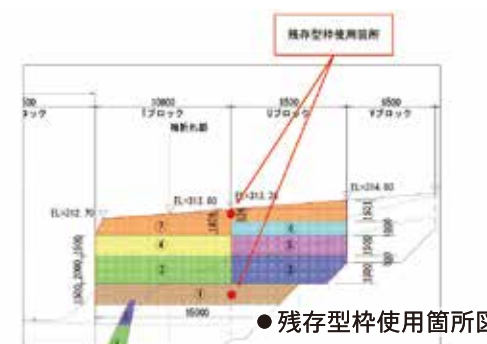
●残存型枠建込み



●本堤打設完了



●副堤打設状況



●残存型桩使用箇所図

● 施工場所：上川郡新得町

●発注者：北海道十勝総合振興局 帯広建設管理部

● 施工業者：萩原建設工業株式会社

● 施工期間：令和8年5月25日～令和9年1月20日

●進捗率：45.0%(9月末現在)



本工事は、2016年の台風10号のような災害に備え、新得町のパンク新得川の支流に砂防堰堤を整備するものです。同台風では、大量の土砂・流木が市街地に流れ込み、JR橋の線路が垂れ下がったほか、国道をまたぐ橋の取付部も流されるなど、甚大な被害が発生しました。施工箇所は全域が携帯電話の不感地帯のため、衛星インターネットとメッシュWi-Fiで現場内にネットワークを構築し、事務所にも協力業者と連絡を取れるようにしました。堰堤本体には残存型枠（プロテックピラス）を使用しています。通常は妻枠で隔てる隣り合ったブロックを、本堰堤・副堰堤ともに2スパン同時に打設でき、工程を短縮しました。本体部では、レーザースキャナーによる3次元出来形計測も行う予定です。工事は順調に進んでいますが、気を緩めることなく日々変化する現場状況に対応し、無事故・無災害での完成を目指してまいります。

現場代理人・監理技術者：島田 竜伸／担当技術者：狹守 文伸、藁谷 璃空、西岡 武徒

土木

東京の学生と考える、これからの「採用」 ～トカチ フィールド アクション ラボ 2026年 夏～



帯広市が取り組む「とにかちフィールドアクションラボ」に、今年も参加しました。「とにかちフィールドアクションラボ」は東京の学生が、企業の課題解決に向けて奔走する、超実践型プロジェクト。当社も継続して参加し、これまで学生の皆さんとさまざまなテーマについて考えてきました。

6回目の参加となる今年のテーマは「採用」。6月30日のオンラインミーティングを皮切りに、毎週オンラインで意見交換を重ね、8月17日からは5日間のフィールドワークで学生が十勝を訪問。8月20日には、社長・副社長を含む取締役や社員に向けて、ワークの成果をプレゼンしました。

学生からは新しい採用モデルの提案とともに、「萩原イズム」という新しいキーワードも。5日間のフィールドワークや社員との交流を通して、学生自身が感じ取った「萩原らしさ」を表現した言葉です。

これまで、仕事の内容や働く環境など「働くイメージ」を伝えることに力を入れてきましたが、「十勝で働いたら、どんな暮らしができるのか」というライフスタイルや、十勝そのものの魅力を十分に伝えられていなかったことに気づかされました。実際に就職活動をしている学生から、企業を選ぶ側のリアルな目線で提案を受けたことは、私たちにとって新しく大きな気づきになりました。

学生の視点から見た萩原建設の魅力や、今回の提案を今後の採用活動に活かしながら、仕事だけではなく「ここで働き、暮らす」ことまでイメージしてもらえる採用を考えていきます。学生のみなさん、ありがとうございました！



『HAGIWARA TIMES』ラジオがパワーアップ！

2024年12月からスタートした「HAGIWARA TIMES」ラジオも、3年目に突入しました。そして10月の放送回より、これまでの18分枠から30分枠へ放送時間を拡大することになりました！放送時間もより覚えやすく10時～10時30分に変更！再放送も22時から放送されます。

そして、放送時間の拡大にともない、ゲストの新コーナーもパワーアップ！その名も「ハギワラリアル10！」です！



テンポよく10個の質問に答えてもらう一問一答形式で、ゲストのことを知ったあと、パーソナリティの独断と偏見で気になった質問をピックアップして、話を広げていきます。

これまでの現場紹介や、仕事の楽しさ、大変さだけでなく、どんな人が働いているのか、仕事の話だけではわからないゲストの一面にも迫ります。HAGIWARA TIMESの記事とはまた違った、社員のリアルな話をお楽しみいただけるコーナーです！



ラジオ「HAGIWARA TIMES」は第2火曜日の10時～10時30分に放送。FM WING (78.5MHz) でお聴きいただけます。放送同日の22時から再放送も。スマートフォンやパソコンからは「radiko (ラジコ)」でもお聴きいただけます。再放送終了後のアーカイブ配信はありませんので、ぜひご都合のよい方法でお楽しみください！



今月の表紙
撮影：営業部 仁藤 正憲

今月の表紙は「濡れもみじ」です。錦秋の雨の中、仕事で車を走らせていると、ふと目に飛び込んできた秋の情景。雨に濡れ、一層色鮮やかさを増したもみじの葉は、思わず見とれてしまうほどの美しさでした。普段は仕事に追われる私のような中年男性も、思わずロマンチックな気持ちになるものですね。山から紅葉前線が下りてきて、11月前半もまだ紅葉を楽しめそうです。美しい景色を見つけると、つい車を止めてしまう私。そんな寄り道も楽しめるよう、日頃から時間に余裕を持って行動することを心がけています。



2026年 11月号 / HAGIWARA TIMES vol.114 バックナンバーは当社HPよりご覧ください。

<https://www.hagiwara-inc.co.jp/>

萩原建設工業株式会社

〒080-0807

北海道帯広市東7条南8丁目2

TEL.0155-24-3030



萩原建設の「今」を発信中！

SNSはこちら